



もの忘れを感じたら

認知症を疑いましょう

正しい知識が予防・対応の第二步



担当:河北(健康課)

認知症は脳の病気であり、誰にとっても身近な病気です。誤解や偏見をなくし、早期発見・対応につなげることが、認知症になつてしまったときに、本人、そして周囲の人たちにとつてよい結果を生みます。認知症について理解を深め、認知症になつても安心して生活できる社会を築いていきましょう。

アルツハイマー型認知症

脳の神経細胞が死滅・変性し、脳全体が萎縮してしまつたものですが、はつきりとした原因はわかつていません。

脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などによつて脳細胞が死滅することによつて起こります。

「認知症ではない」もの忘れ

- ・体験の一部分だけを忘れている。
- ・自分がもの忘れしたことを認識している。
- ・家族、自分の家の場所、季節を認識している。

もの忘れの種類

「認知症」のもの忘れ

- ・体験そのものを忘れている。
- ・自分がもの忘れしたことを認識していない。
- ・家族、自分の家、季節がわからなくなる。

●認知症のサインを

見逃さない

認知症の初期には、同じ話を無意識に繰り返したり、それまでできていた事ができなくなるなど、日常生活のちよつとした変化からあらわれることが多いため、「少し変だな」「以前の様子と違う」といった気になる行動がみられたら、認知症を疑ってみましょう。

●認知症が疑われたら

まずは受診を

気になる症状がみられたら、早めに医療機関で診察を受ける事が大切です。

また、認知症になつても、本人やその家族を支えるさまざまな介護・福祉サービスの制度があります。詳しくは、健康課までお問い合わせください。

介護保険説明会にご参加ください

1、2月で 65 歳になられる人を対象に制度説明会を開催します。対象以外の人でもお気軽にご参加ください。

- 2月 9日(木)10時から 山内保健センター
- 2月15日(水)10時から 武雄市役所1階会議室
- 2月23日(木)10時から 北方支所3階3-1会議室

問 杵藤地区広域市町村圏組合 暮らし部 健康課
介護保険事務所 (市地域包括支援センター)
☎ 0954(69)8222 ☎ (23)9135
(市外局番からダイヤルしてください)

○介護保険事務所のホームページ
<http://www.kitou-web.jp/kaigo/>



アンケート調査にご協力を!

市では、今後介護が必要となる可能性の高い人を早期に発見するため、「基本チェックリスト」によるアンケート調査を行います。

対象者には2月上旬にアンケート用紙を郵送しますので、回答へご協力をお願いします。

- ◆対象者 要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の人
- ◆内容 生活の活動状況、下肢筋力、口腔機能、うつに関すること